３　地域社会全体で子育てを支え、安心して子育てができるまちをつくる

現状と課題

・核家族化、地域や親同士のつながりの希薄化、子育てと生活の両立の難しさ等から、各家庭が子育てに余裕がなく楽しむことができない状況もみられ、地域社会全体で子育て家庭を支援する必要があります。

・保護者が地域の中で温かく見守られ、支えられながら不安や孤立感を抱えることのないよう、子育て家庭同士のつながりの場だけでなく、様々な立場の周囲の方に支えてもらえるような地域づくりが必要です。

・子育て家庭が仕事と家庭を両立し、子育てに余裕が持てるような環境づくりが必要です。

・共働き世帯や働き方の多様化に伴い、すべてのこどもたちにとって安心・安全な放課後の居場所の必要性が高まっています。必要な児童が利用できるよう受け皿の確保が求められています。

・すべてのこどもが家庭や学校以外でも自分らしく安心・安全に過ごすことができるようなこどもの居場所の提供が必要です。

・こどもが屋外や屋内で安全に過ごすことができるよう、公園や遊戯施設等の整備が求められています。

（１）地域における子育て支援の充実

〇目標・方向性

・保護者が孤立感や不安感を抱えることのないよう、地域社会全体で子育て家庭を支援する取組を行います。

・保護者同士のつながりや親とこどもの絆を育む場の提供を通して、子育ての悩みや不安の軽減につながるような支援を行います。

・子どもセンターにおいて、親育ちや子育ちを応援する交流の場や、子育て教室の開催を通して、子育てをする親同士が情報交換や悩みや不安を相談できる場を提供します。

・市内で活動する子育てサークル・支援団体等の活動に対して、情報発信や施設利用等の支援を強化します。

〇主な事業・取組（★…法定事業）

①　地域子育て支援拠点事業【こども家庭センター】★

　子育ての不安感等を緩和するために、子育て親子が交流する場を提供し、子育ての相談、情報提供、助言等を行います。

指標	現状値（Ｒ６）	目標値（R11）
年間延べ利用人数	２１，７３４人	２０，５００人

② 親子関係形成支援事業（親子の絆づくりプログラム(BP))【こども家庭センター】★

生後２か月から５か月の第１子を育てるお母さんと赤ちゃんを対象に、ロールプレイ等を通じて子育ての基礎知識を学び、保護者同士の交流を図りながら、親子の絆を育てていくプログラムを実施します。

指標	現状値（R６）	目標値（R11）
年間開催コース利用人数	５７６人	５７６人

③ ファミリー・サポート・センター事業【こども家庭センター】★

育児の援助を「行いたい人（提供会員）」と「受けたい人（依頼会員）」からなる相互援助活動を支援するために連絡・調整を行い、仕事と家庭の両立を支援します。

指標	現状値（R６）	目標値（R11）
年間延べ利用人数	６７２人	６５２人

（２）こどもの健全育成

○目標・方向性

・すべての就学児童が、安心して安全に過ごすことができる放課後の居場所を提供します。

・利用ニーズが高まっている放課後児童クラブの受け皿の確保に努めます。

・放課後児童クラブの職員を対象とした研修を実施することで、放課後児童クラブ職員の資質の向上に努めます。

・こどもの生活の連続性が保障されるよう、放課後児童クラブと幼稚園、保育所、こども園、小学校等の連携を進めます。

○主な事業・取組（★…法定事業）

① 放課後子ども教室【生涯学習課】

「近江八幡市放課後子ども総合プラン」に基づき、利用可能な余裕教室やコミュニティセンター等を活用し、児童の学習・体験・交流の場を提供します。また、放課後児童クラブとの連携を進め、「校内交流型」または「連携型」の実施をします。

指標	現状値（R６）	目標値（R11）
放課後子ども教室実施校数	１２校	１２校

② 放課後児童健全育成事業【子育て政策課】　★

確保方策に従い、放課後に児童が安心して生活ができる居場所を確保し、次代を担う児童の健全な育成を支援します。

指標	現状値（R５）	目標値（R11）
放課後児童クラブ受け入れ確保量	１，５７７人	１，６７７人

（３）良好な居住環境の確保

○目標・方向性

・こどもたちの遊び場である公園等を安全で安心して快適に過ごすことができるよう

に、維持管理等に努めます。
・こどもが楽しく安全に過ごすことができるよう、公園の整備等を行います。

〇主な事業・取組

① 公園等の整備【都市計画課】

子育て家庭を含めた市民が利用できる公園等の環境整備を行います。

指標	現状値（Ｒ６）	目標値（R11）
老朽化した施設（遊具・トイレ）の改修	１箇所/年	１箇所/年

② 屋内の遊び場等の整備【福祉政策課】

子育て家庭が、天候や気候に関わらず屋内で活動ができる屋内遊戯施設等を整備します。

指標
屋内遊戯施設等の一体的整備を検討

（４）安全・安心な環境の整備

〇目標・方向性

・こどもたちが安全に生活することができるよう、交通環境の整備や防犯対策の充実を図ります。
・通学路等の安全点検等を実施し、安心・安全な環境整備を行います。
・必要な情報について、迅速に情報発信を行います。

〇主な事業・取組

① 歩道・通学路の安全対策【学校教育課】【土木課】

毎年１回、関係機関と合同点検を実施し、小学校ごとに通学路の危険箇所について情報収集を行い、対策が必要となれば、区画線や防護柵設置によるハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など具体的な実施メニューを検討します。

指標	現状値（Ｒ６）	目標値（R11）
通学路合同点検の実施回数	１回/年	１回/年

② 安心・安全情報発信事業【人権・市民生活課】

事件や不審者情報について、市の情報発信ツールを用いて必要な対象者へ迅速に情報発信を行います。

指標
より多くの対象者に情報発信ツールの登録をしてもらえるよう周知を実施

（５）家庭と仕事の両立支援

〇目標・方向性

・家庭と仕事を両立し、豊かな生活を送ることができるよう、企業に対する啓発や支援を通して、誰もが働きやすい職場環境づくりを推進します。

・男性の育児参加を促し、夫婦が相互に協力しながら子育てができるような環境をつくるための啓発活動を行います。

○主な事業・取組

① 事業所への啓発【商工振興課】

仕事と家庭の両立の実現のため、関係団体等と連携して、働き方の見直しを推進し、従業員のモチベーションや定着率の向上、企業の人材確保や生産性向上等、企業の成長にながる啓発に努めます。

指標	現状値（R５）	目標値（R11）
ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する事業所対象セミナーの受講者	１７名	対現状値比 １００％以上

② 男性の子育て参加への啓発【こども家庭センター】【健康推進課】

男性の育児参加を後押しするための啓発活動を行います。

指標	現状値（R５）	目標値（R11）
子育てガイドブック「ハチピースタイル」内に「育パパ手帳」を掲載	１回/年	１回/年
父親参加プログラムの開催	年１回以上	年１回以上
コペアクラス（妊娠期教室）参加者アンケート	健康はちまん 21 プラン基づき実施	

（６）こどもの居場所づくり

○目標・方向性

・こどもが自分らしく安心して、過ごせるための居場所を提供します。

・こども食堂等こどもにとって安心して過ごせる居場所が提供されるよう、活動団体等に対して支援を行います。

○主な事業・取組

① こども食堂事業【こども家庭センター】

食事が必要なこどもたちとつながることができる可能性が高まることや、ひとり親家庭や、両親共働き家庭の増加により孤食が増える中で、豊かな時間の提供・地域の人々とのかかわりで支えあうコミュニティの充実を図るため、こども食堂実施団体への支援を行います。

指標	現状値（R６）	目標値（R11）
市内こども食堂実施団体数	１７団体	２０団体

② こども・若者の居場所づくりの検討【子育て政策課】

こども・若者とこども・若者に関わる大人やコミュニティをつなぐため、すべてのこども・若者を対象としたオープンな居場所づくりについて検討します。

指標
ニーズの把握、事業化の検討を行い、計画期間内（R11）の整備を図る